

東日本大震災復興支援
第67回国民体育大会 バasketボール競技

MATCH No. 30B1

開催場所: 飛騨高山ビッグアリーナ
試合区分: 成年男子2回戦
開催期日: 2012年9月30日 (日)
開始時間: 10:00

主審: 本間 充
副審: 坂下 航太



Team A	●	16 -1st- 15 21 -2nd- 23 17 -3rd- 17 17 -4th- 16 13 -OT1- 16	○	Team B
山口	84	87		熊本

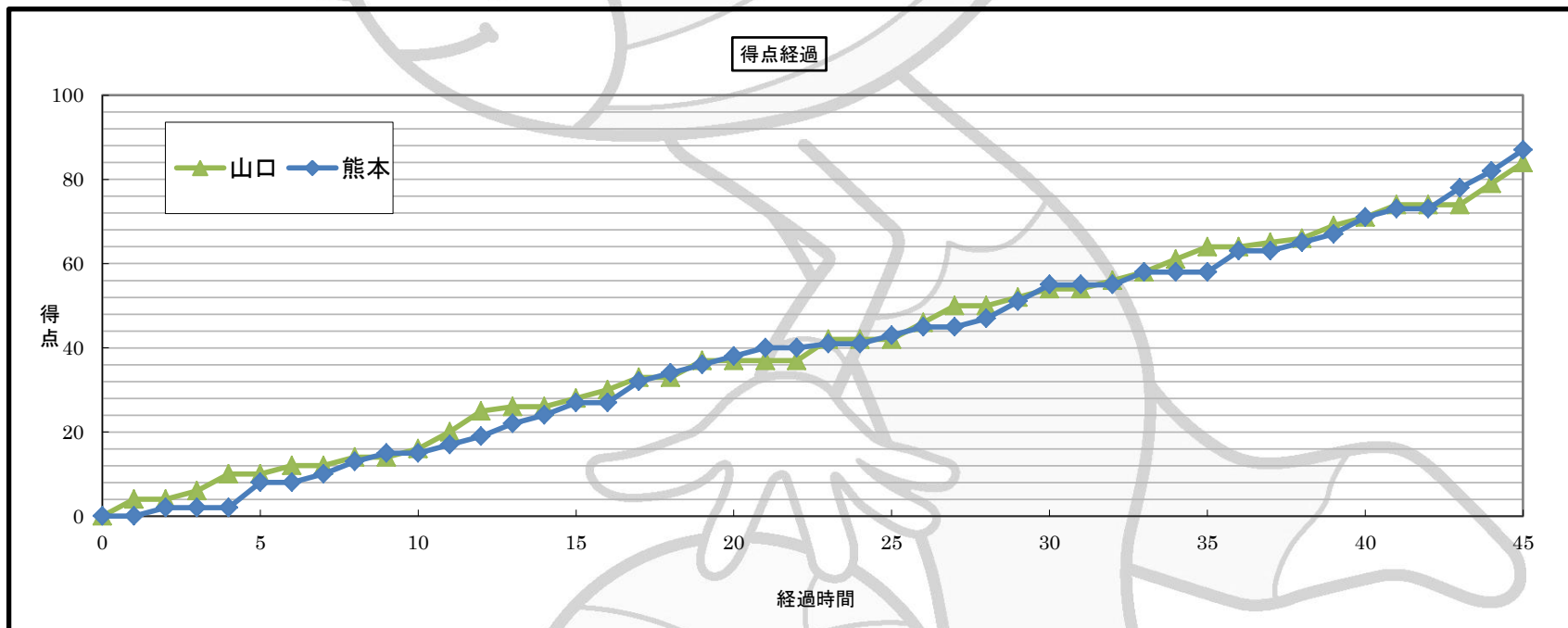
TEAM A		山口							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4		枝折 康孝(C)	9	1	3	0	1	0	1
5	*	島袋 脩	21	3	4	4	1	4	2
6	*	片山 大典	7	0	2	3	4	0	0
7		宗野 克洋	4	0	2	0	2	2	1
8		入江 陽介	3	0	1	1	2	3	0
9	*	野口 翔	5	0	2	1	2	4	0
10	*	北本 久展	7	2	0	1	5	2	1
11		隅廣 敬太郎	0	0	0	0	1	0	0
12		高橋 悠	4	0	2	0	2	4	0
13	*	隅廣 英二	24	3	7	1	2	3	10
14		椎木 佑貴	0	0	0	0	1	0	0
Coach		枝折 健吾					0		
TOTAL			84	9	23	11	23	22	15

TEAM B		熊本							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4		滝口 翔太	4	0	1	2	3	2	3
5	*	古閑 雅美	8	1	0	5	2	1	0
6		西塔 佳郎	-	-	-	-	-	-	-
7	*	岩下 利輝(C)	9	1	3	0	3	5	0
8		北村 正太郎	5	1	1	0	0	0	1
9		高濱 拓矢	5	1	1	0	2	4	2
10	*	川満 寿史	18	1	6	3	3	19	3
11		早野 泰介	10	0	3	4	2	2	0
12		湯浅 啓哉	-	-	-	-	-	-	-
13	*	藤原 一仁	5	1	0	2	3	0	1
14	*	青島 心	23	0	10	3	3	14	1
Coach		奥村 幸生					0		
TOTAL			87	6	25	19	21	47	11

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
	16:45	28:28 39:08 39:45	43:30	-

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
	03:39	26:32 38:36 39:52	44:50	-

*:スターター (C):キャプテン PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル R:リバウンド A:アシスト



2回戦の山口対熊本は、両チームハーフコート・マンツーマンディフェンスでスタート。1Q序盤山口の#13の2本連続シュートに続く好リードで10-2とリードする。中盤熊本が#11の得点などで8分には12-13と逆転する。しかしその後山口は#12、#7の4得点で再び逆転し16-15となり、山口リードで終了。
2Qも一進一退の展開で、4分に山口が最大7点リードするも、熊本は#14の9得点、#7の7得点、#9の5得点の活躍で逆転し、37-38と熊本がリードして前半が終了した。
後半に入っても、互いに特徴を生かした攻防となる。熊本は#14のゴール下、エース#10がバスケットカウント1スローを含む7得点の活躍。山口はエース#5の2本の3Pを含む12得点の活躍で追いかける。熊本が54-55の1点リードで3Qを終了した。
4Qに入ると、相手のミスに乗じて山口は#13の連続2本の3Pを含む8得点の活躍で64-58とリードする。その後、熊本は#7、#10のシュートで59-59の同点に追いつく。さらに「熊本がセンターの活躍でリードする。しかし山口は#13が1対1からジャンプシュートを決め、同点に追いついたところで延長に突入する。
延長に入ると山口はオールコートディフェンスで勝機をつかもうとするが、熊本は高さを生かしてインサイドにボールを集めて攻め、#14の活躍で追いつがる相手を振り切り、87-84で勝利し、3回戦に駒を進めた。敗れたものの山口の#13、#5の活躍は観客を惹きつけた。

記載責任者 川崎 恵子 (所属) 岐阜県バスケットボール協会